

抜き取って
お読みください

ATSUGI CITY
第5号
JANUARY.1.2019

Atsugi City Board of Education
厚木市
教育委員会だより

エデュ

ナビ

Edu Navi

Education is a Navigation
for the Future



未来へつなぐ ふるさとの芸能

所狭しと舞い踊る獅子舞や、勇壮なはしご乗り、細やかなしぐさで感情を表現する人形浄瑠璃、どこか懐かしい「ささら」の音と息の合った踊り…。子どもたちを笑顔いっぱいしているのは、郷土芸能団体の皆さん。市内で実施している普及公演※の1コマです。

公演では、芸や技を鑑賞するだけではなく、踊りや太鼓を体験したり、芸能の成り立ちを学んだり、衣装や人形の仕組みを教わったりと、内容は盛りだくさん。気が付けば、郷土芸能の世界に引き込まれています。

郷土芸能は、祭りや季節の行事の中で古くから地域に根付き、伝えられてきました。しかし、時代は移り変わり、担い手不足に直面しています。「先人から託された郷土芸能を未来へ」。私たちのふるさとは、前を向いて歩み続ける継承者たちがいます。



1



2



3



4



5



6



7

※郷土芸能普及公演
郷土芸能を広く知ってもらうために2005年度にスタート。年間38回の公演を小学校や保育園、公民館などで実施しています。毎年10～11月には、全団体が出演する「郷土芸能まつり」を開催しています。
文化財保護課 ☎225-2509

- 〔普及公演出演団体〕
- 国指定重要無形民俗文化財
 - 相模人形芝居林座 ④
 - 相模人形芝居長谷座 ⑧
 - 県指定無形民俗文化財
 - 愛甲ささら踊り盆唄保存会 ⑤
 - 長谷ささら踊り盆唄保存会 ⑦
 - 市指定無形民俗文化財
 - 古式消防保存会 ⑨
 - 伊勢十二座太神樂獅子舞保存会 ⑩
 - 相模里神樂垣澤社中 ②⑤⑥



8



9

インターナショナルセーフスクール



昨年11月に妻田小学校がインターナショナルセーフスクール(ISS)の認証を取得、陸合東中学校が再認証を果たしました。「自分たちが学ぶ学校をより安全なところに」。子ども、教職員、PTA、地域住民の思いと取り組みは今、地域全体に広がっています。

◎教育指導課 ☎22512660



けがを減らすため児童が安全マップを作成

2016年に活動を開始。児童による雨の日の校内パトロールやオリジナルソング・川柳作りのほか、けがや不審者などに対する教職員向けの研修、保護者・地域住民による登下校や水泳の授業の見守り、児童へのいじめアンケート、交通安全教室、起震車・煙体験などを実施しました。自転車ヘルメットの着用率が90%を超え、防犯ブザーの携帯率が大幅に上昇するなど、大きな成果を上げています。



井上颯斗さん(6年)

児童会を中心に全校のみんなで取り組んだ結果、廊下を走る人が減ったり、ヘルメット着用率が上がったりして、だんだんと活動の効果を感じました。認証を受けたと聞いた時は、飛び上がるほどうれしかったです。この認証を新たなスタートとし、みんながもっとISSを理解して、さらに安全な学校になってほしいと思います。



地域の見守り隊が児童の安全を確認



3校合同ミーティング
小・中学校の連携を深め、共通の理解の下でISS活動に取り組めるよう、年2回ミーティングを実施しています。



岩松カズミさん(3年)

3年前の認証取得後も取り組みを続けていく中で、みんながISS認証校としての自覚や前向きな姿勢を見せてくれました。いじめゼロの木やオレンジリボン運動への参加者、防犯ブザーの携帯率の増加など、目に見える形で成果を出せたと思います。生徒会長として臨んだ現地審査の場でも、自信を持って発表することができました。



いじめをしないことなどを宣言するオレンジリボン運動



部活動でのけがを減らすウォームアップ・クールダウン講習会



陸合東中



地域の防災訓練に参加することで、防災意識や地域の一員としての自覚を高める

2015年に国内9番目の認証を取得。部活動で使う道具・設備の点検、思いやりのある行動などを紙に書いて貼り付ける「いじめゼロの木」、いじめをなくすためのクラスの約束、PTAによる防犯ブザー配布と通学路安全点検マップ作成、生徒による地域活動への参加などに取り組まれました。その結果、いじめ・暴力行為やけが、不登校生徒が減少するなど、学校生活に落ち着きと活力を与えています。

自ら考え、行動する 学校を街をより良い場所に

自分たちが生活する場をより安全なところにしていくこと、若者や子どもたちが活動しています。何が課題なのか、改善には何が必要か、みんなに伝える工夫は。今回は、仲間と力を合わせてやり遂げた二つの取り組みを紹介します。

より良い場所に

心と街のクリーン作戦



自分たちが暮らす街をきれいにし、喫煙や飲酒、薬物乱用、非行の防止を若者に訴える取り組みとして30回目を迎えました。大学生や高校生、青少年相談員など140人が一丸となり、活動を展開しました。

◎青少年相談センター ☎22512520



宇田川梨胡さん(18)

初めて参加しましたが、何度も話し合っただけで計画を立てていく活動内容の濃さにとても驚きました。担当させてもらったポスター制作では、参加するさまざまな年齢の人物を描き、水彩絵の具と色鉛筆を使って優しい色使いにすることを心掛けました。自分の好きなことで活動の役に立てたので、大きな充実感が得られました。



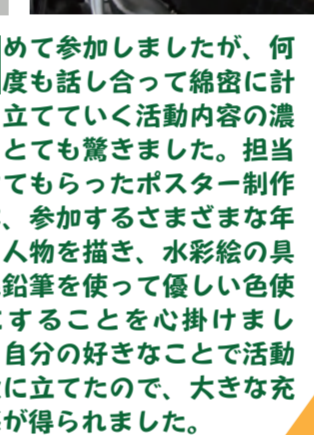
展示ブース準備



9月15日 本番当日



役員選出・部会メンバー決定



マスコットキャラ・標語決定



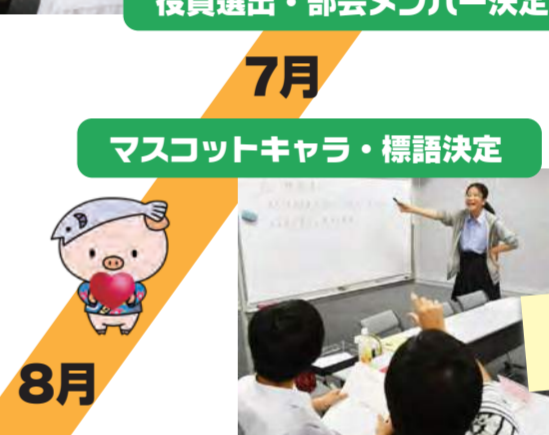
啓発ポスター決定・啓発物品袋詰め



山田祐翔さん(18)



実行委員会結成



7月



山田祐翔さん(18)

クリーン作戦
6月に市内の大学生、高校生、ジュニアリーダーによる実行委員会を組織。四つの部会に分かれ、9月の本番に向け、活動内容の検討を重ねます。
【美化部会】市街地の道路や公園、河川敷でゴミを拾う清掃活動
【啓発部会】ポスターやチラシ、啓発メッセージの作成
【展示・募金部会】展示物の検討やブース運営、募金活動
【セレモニー部会】開会セレモニーなどの司会・運営

NEW CLEAN ATSUGI
～私たちが創ろう この街の未来～

青少年相談員は、啓発物品の袋詰めや当日の募金・啓発活動をサポートしました。青少年が飲酒・喫煙・薬物乱用・非行の防止に関心をもち、率先して取り組んでいることは素晴らしいと思います。街頭での活動では、最初こそ戸惑う姿が見られましたが、次第に道行く人に伝えたいという気持ちがあふれてきて、とても頼もしく感じました。

高校の先輩たちの活動する姿を見て、1年生から参加してきました。3年の今年、自分をもっと成長させたいと思い、委員長に立候補しました。数多いメンバーをまとめるのは大変でしたが、仲間のおかげでやり遂げられました。当日は雨で縮小開催になってしまいましたが、多くの方の笑顔から、活動への関心が高まったことが分かり、とてもうれしかったです。

コンクール受賞者発表
夏休みに実施したコンクールの受賞作品を紹介します。(敬称略)

<p>文化財保護 4面に続く 柏木 悠翔 (陸合中3年)</p>	<p>文化財保護ポスター(県) 最優秀賞 「分別で再生できる資源あり みんなで目指す 豊かな社会」 上市 萌華 (玉川中1年)</p>	<p>標語 「ほくもふんべやちるよぶらごみ かみごみ ぶらごみ」 神戸 雄生 (厚木第一小1年)</p>	<p>リサイクル 高村 ころこ (南毛利小4年)</p>	<p>ゴミ 大森 優衣 (依知小1年)</p>	<p>ごみ減量リサイクル 高林 瑞葉 (北小6年)</p>	<p>愛犬責任 井出 優来 (三田小5年)</p>	<p>動物愛護ポスター 成田 琴葉 (厚木小3年)</p>	<p>明るい選挙 啓発ポスター 長谷川 愛心 (森の里中3年)</p>	<p>金賞 小林 千夏 (藤蔭中3年)</p>	<p>人権ポスター・作文 厚木市人権擁護委員会会長賞 泉 ひなた (三田小1年)</p>
---	--	---	---	------------------------------------	--	--------------------------------------	--	--	------------------------------------	---



仲間とつなぐ地域の絆

あつぎ駅伝 南毛利南チーム 石井 勝人さん (48・愛甲)

子どもの頃から運動が好きで、学生時代は陸上の長距離走、社会人からは野球とソフトボールに打ち込んできました。体がなまらないう、日頃からランニングをしていたため、同じソフトボールチームの仲間から、あつぎ駅伝に誘われました。これをきっかけに再び長距離走を始め、以来17年間、ずっと駅伝のメンバーに選ばれています。

参加当時のメンバーはほとんどが年上で、合同練習をする前まで「この中では速く走れるだろう」と思っていました。しかし、いざ走ってみると全く追いつけず、初めての駅伝大会は補欠に終わりました。このままではやめられないという気持ちで沸き、一から鍛え直すと、翌年からは走者として出場することができました。アンカーを務めた大会での優勝や、当時高校生と中学生だった娘2人と一緒に出場して優勝の喜びを分かち合えたことは良い思い出です。

年齢を重ねた近年、体力の低下は否めません。けがをしないよう無理せず練習していますが、走り出すと若い子に負けたくないという気持ちが入り込みますし、前回大会の自己記録にも負けたくありません。だからこそ、あつぎ駅伝の時に一年のピークを迎えるように走り込みをしています。

監督と共にメンバーを選考するなど、チーム編成も担当

あつぎ駅伝競走大会

厚木の新年の風物詩として、今年で65回目を迎えます。前回大会では、3部門(地区対抗、高校、一般)に43チームが出場。地区対抗の部では、6人のランナーが襷をつなぎます。



石井さんから長女的美穂さんに襷リレー(第61回大会)

1月27日 10時
荻野運動公園スタート

スポーツ推進課 ☎225-2531

走る楽しさは、何と言っても苦しさを超える。ゴールした時の達成感です。そして、味わえる達成感、個人で出場する大会より、駅伝の方がより大きくなります。駅伝は、チームに速い人が1人いるだけでは勝てません。野球やサッカーなどとは違い、途中で選手交代ができないスポーツでもあります。そこが駅伝の難しさであり面白さ。独特の緊張感と1人で得られない充実感がありますね。

特に、あつぎ駅伝の地区対抗は、高校駅伝や箱根駅伝などと違い、中学生から社会人まで多様な年齢の選手が集まります。12月からは毎週顔を合わせて一緒に練習します。地区を代表して襷をつなぐ仲間とのつながりは、私にとって大きな財産です。南毛利南チームは、現在4連覇中。仲間と最高の達成感を味わい、地域をもっと盛り上げられるよう、これからも練習に励みたいと思います。

走る楽しさは、何と言っても苦しさを超える。ゴールした時の達成感です。そして、味わえる達成感、個人で出場する大会より、駅伝の方がより大きくなります。駅伝は、チームに速い人が1人いるだけでは勝てません。野球やサッカーなどとは違い、途中で選手交代ができないスポーツでもあります。そこが駅伝の難しさであり面白さ。独特の緊張感と1人で得られない充実感がありますね。

特に、あつぎ駅伝の地区対抗は、高校駅伝や箱根駅伝などと違い、中学生から社会人まで多様な年齢の選手が集まります。12月からは毎週顔を合わせて一緒に練習します。地区を代表して襷をつなぐ仲間とのつながりは、私にとって大きな財産です。南毛利南チームは、現在4連覇中。仲間と最高の達成感を味わい、地域をもっと盛り上げられるよう、これからも練習に励みたいと思います。



合同練習をする南毛利南チーム

親子のための 耳より! info

元気の源「朝ごはん」

朝ごはんは、脳や体を活発に動かすエネルギー源。朝食をしっかり取れば、集中力や記憶力が高まります。特に、ご飯やパンなどの主食には、脳のエネルギー源になるブドウ糖が多く含まれています。主食と簡単に用意できるおかずを加えることで、学校生活をアクティブに送る子どもたちの元気をしっかりとサポートできますよ。

★朝食準備三つのポイント★

- 1 夕食の支度をする時に、翌朝の材料を準備。夕食の残りでもOK。
- 2 そのままでも食べられるチーズや果物などを用意。
- 3 献立に悩まないよう、決まったパターンを決める。

納卵丼

材料(1人分) 農林水産省ホームページより

- ・ご飯.....200g
- ・納豆.....1パック
- ・卵.....1個
- ・ミニトマト(半分に切る).....3個
- ・長ネギ(斜め薄切り).....1/3本
- ・めんつゆ(3倍濃縮).....大さじ1
- ・水.....大さじ2

作り方

- ① 小鍋に長ネギとめんつゆ、水、ミニトマトを加え、ふたをして中火で1分煮る。
- ② 納豆と溶き卵を加え、ふたをしてひと煮立ちさせたら、火を消し、卵を半熟状に蒸らす。
- ③ ご飯に乗せて、出来上がり!

給食人気レシピは

数字で見るあつぎの教育

Q これって何の数字

2.6人

A 児童・生徒1人に対する ボランティアの人数です。

(2017年度元気アップスクール推進事業における)

元気アップスクールは、各小・中学校が地域との絆を大切に独自に取り組んでいる教育活動です。狙いは、子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むこと。地域の方を米作りや自然観察、職業講話、車椅子体験などの講師として招いたり、本の読み聞かせや書道・ミシンなどの学習を支援してもらったり、活動内容はさまざまです。音楽・演劇などの鑑賞会や、子どもたちとPTA、地域住民が交流できるイベントなども開催しています。地域の皆さんのサポートを得た普段できない体験に、子どもたちは目をキラキラと輝かせます。



昨年度のボランティアの総数は、小・中学校合わせて46,076人。学校に関わってくださるたくさんの方々は、未来を担う子どもたちの成長に欠かせない存在です。



元気アップスクール展
1月31日～2月8日(2月4・5日除く)
各校の魅力ある取り組みを文化会館地下展示室でパネル展示します。

コンクール受賞者発表

防火ポスター 特選



大谷 蓮将(緑ヶ丘小1年)



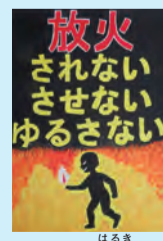
太田 心結(南毛利小4年)



細谷 奏斗(鷹尾小2年)



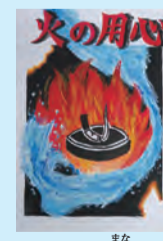
大村 桜彩(戸田小3年)



渡邊 春毅(戸室小5年)



笠 瑠騎矢(毛利台小6年)



安西 愛(玉川中1年)



佐々木 芽生(睦合中2年)



清水 彩花(藤塚中3年)

厚木子ども科学賞 大賞 「蒸発の研究」中嶋 蘭(玉川小6年)
「カビNo.2～食べ物はそのまましておきな!」長谷 深桜(森の里中3年)

和田傳文学賞 大賞 「目ひょうをもつたいせつさ」北村 祐成(相川小2年)
「祖父の望み」金谷 怜実(依知南小5年)
「隣の浜さん」岩本 梨音(睦合東中1年)

青少年発明コンクール 特賞 「誰でも簡単!コンパスマーカ」勝又 耕平(森の里小6年)

学校、家庭、子どもの発達...独りで悩まないで! **子どもの相談は ☎ 221-8080** (青少年教育相談センター)
平日9時～17時(火曜は20時)。それ以外の時間と土・日曜、祝日は留守番電話をご利用ください。ネットいじめ・ヤングテレホン ☎ 223-6693でも承ります。